

郷土の偉人間宮林蔵をたたえて

間宮林蔵海峡発見200年祭を開催

郷土の偉大な測量・探検家である間宮林蔵が、カラフト探査の際に海峡（後に「間宮海峡」と名づけられる）を発見してから200年。この林蔵の偉業や歴史・文化を後世に伝えることを目的とした「間宮林蔵海峡発見200年祭」が7月26日、盛大に開催されました。

午前の部は、間宮林蔵顕彰会主催の「林蔵ウォーク」が行われ、参加した市民は、谷井田小学校から林蔵の墓がある専称寺までを発着点として、片道約3kmの道の



猛暑に負けず元氣よく歩いた林蔵ウォーク

りを、一歩一歩先人に思いをはせながら歩いていました。

午後の部は、会場を谷井田小学校体育館に移して市実行委員会主催の式典が行われ、カラフト探査でゆかりのある稚内市から出席された工藤廣副市長か



林蔵の劇「孤高の探検家あれが海峡だ!!」を熱演する間宮林蔵顕彰会の皆さん

ら、お祝いの言葉が述べられました。

その後、地元小中学生による林蔵の研究発表をはじめ、林蔵の生涯を描いた手づくりの演劇、林蔵太鼓の演奏などが披露され、市内外から訪れた多くの来場者に林蔵の偉業を伝えていました。

祝 幕内 がんばれ猛虎浪！

もうこなみ

本市にある立浪部屋の猛虎浪関が、大相撲名古屋場所の番付で前頭七枚目となり、本部屋初

の幕内力士が誕生しました。

名古屋場所を終えた猛虎浪関は、「幕内では、土俵入りから取り組みまで、すべてが初めてのことばかりで、序盤は少し緊張しました。」と場所後の感想を語ってくれました。

また、「取り組みについては、自分のウィークポイント（弱点）

も見つけることができ、とても勉強になりました。今後は、親

方の指導のもと、もっともつと稽古に励み、一つでも多く勝ち

星を取れるように頑張ります。

市民の皆さまからの激励はとてもうれしく思います。皆さまの期待に応えられるよう頑張りますので、今後もご声援をお願いします。」と次の9月場所に向けて、抱負を語ってくれました。

地元部屋力士の活躍に、今後



初入幕をした猛虎浪関

も目が離せません。

都市計画マスタープラン

懇談会を開催しました

市は、20年後の土地利用などの目標や将来像を定める都市計画マスタープランを策定しています。

計画策定にあたって、市民の皆さまから、さまざまなご意見・ご提案をいただくため、懇談会を5月と7月に計6回にわたり開催しました。

最終日の7月12日には、午前・午後合わせて約50人の方にご参加いただき、さまざまなご意見をいただきました。このご意見・ご提案を今後の計画策定の参考にさせていただきます。

ご意見・ご提案の一部（概略）

▽活力のある都市が目標だが、みらい平地区にどのような人に住んでもらいたいのか、といった視点が抜けているのではないかと、新しいまちづくりも重要だが、既存の市街地の今後のあり方も含めた、都市づくりの方針を考えていただきたいと思う。

▽みらい平には、是非、新しい考え方の下に、色々な施策を講じてもらいたい。例えば、常磐自動車道のスマートICの導入や駅周辺に市民が集えるコミュニティスペースの設置などを検討してみても？

▽TX沿線の住宅地がある中

で、みらい平を選んだ理由の一つに、緑が多く他と比べて静かなまちだったことがあげられる。商業・娯楽施設が多い賑やかなまちになってしまうと、住みにくくなる。是非、今の良い環境を維持しながら開発を行ってほしい。

▽道路整備について、少なくとも道路の両側に歩道を整備することは、安心・安全の観点からも、必ず必要ではないかと思う。財政的に難しいというはあると思うが、方向性だけでも考えていただきたい。

▽福岡地区の工業専用地域付近に新産業集積ゾーンが設定されており、昨年に地元アンケート調査を行うなど、基本的には、工業系の土地利用を図る方向だと思うが、この周辺の土地所有者にとって大変重要な課題である。

今後、パブリックコメントなど、市民の皆さまにご意見・ご提案をいただく機会がありますので、その際にもご協力をお願いいたします。

問 谷和原庁舎都市計画課

☎ 58・2111（内線8161）